

海洋島嶼国家の原像と変貌

塩田光喜編

海洋島嶼国家の原像と変貌

塩田光喜編

アジア経済研究所

海洋島嶼国家の原像と変貌

しお た み つ き
塩田光喜 (アジア経済研究所地域研究部)

は し も と か ず や
橋本和也 (京都文京大学教授)

お お た に ひ ろ ふ み
大谷裕文 (西南学院大学教授)

た な は し さ と し
棚橋 訓 (慶應義塾大学助教授)

と み ざ わ ひ き お
富沢寿勇 (静岡県立大学教授)

ま つ し ま や す か つ
松島泰勝 (早稲田大学大学院博士課程)

し み ず は じ め
清水 元 (長崎県立大学大学院教授)

さ と う ゆ き お
佐藤幸男 (名古屋大学助教授)

—執筆順—

海洋島嶼国家の原像と変貌

研究双書473

1997年3月12日発行©

編 者 塩田光喜

発行所 アジア経済研究所
東京都新宿区市谷本村町42 電話 東京(3353)4231(代)

印刷所 勝美印刷株式会社

ISBN4-258-04473-3



IDE

研究双書No473

塩田光喜編『海洋島嶼国家の原像と変貌』

Kaiyō Tōsho Kokka no Genzō to Henbō

(Prototype and Transformation of Maritime States in the Pacific)

Edited by

Mitsuki SHIOTA

Contents

- Introduction A Perspective for Maritime States
(Mitsuki SHIOTA)
- Chapter 1 The Background of Modern Maritime History and the Pacific Ocean
(Mitsuki SHIOTA)
- Chapter 2 Intrusion of the Modern Western Civilization and the Rise
and Fall of Insular States in the Pacific
(Mitsuki SHIOTA)
- Chapter 3 Searching for a Government
(Kazuya HASHIMOTO)
- Chapter 4 Strangers and State in Tonga
(Hirofumi OHTANI)
- Chapter 5 Genesis of a Rarotongan Political Leader and a Dream of Avaiki:
A Life-historical Approach to MIRAB Processes
(Satoshi TANAHASHI)
- Chapter 6 State Structure and Maritime Peoples in Insular Southeast Asia
(Hisao TOMIZAWA)
- Chapter 7 Insular Trade and Maritime Nations: The Case Study of Ryūkyū Islands and Fiji Lau Islands
(Yasukatsu MATSUSHIMA)
- Chapter 8 The Asian Maritime World and Modern Japan:
With Special Reference to the Northwestern Kyūshū
(Hajime SHIMIZU)
- Chapter 9 Problematique of Microstates in the World-System: Political Economy of Microstates
(Yukio SATŌ)

[Kenkyū Sōsho (IDE Research Series) No. 473]

Published by the Institute of Developing Economies, 1997
42 Ichigaya-Hommura-cho, Shinjuku-ku, Tokyo 162, Japan

目 次

まえがき

序 章 海洋島嶼国家論への視座……………	塩田光喜…………	3
はじめに——海と人の交わり……………		3
本書の構成と各章の紹介……………		10

第1章 近代世界海洋史と太平洋

——その背景——……………	塩田光喜…………	27
第1節 海洋、国家、遠隔地交易……………		27
第2節 近世商業資本主義の展開と海上遠隔地交易……………		31
第3節 大航海時代における海上遠隔地交易と異界幻想……………		33
第4節 水平線とフロンティア——西洋世界の活性化……………		36
第5節 制海権の思想……………		38
第6節 遠距離航海の実像とアジアにおける白人社会……………		43
第7節 西洋諸国の主要輸出品としての武器と銃器テクノロジー の発達……………		48
第8節 テラ・アウストラリス・インコグニタ(未確認南方大陸)……………		50
参考文献……………		54

第2章 水平線の彼方から

——西洋近代文明の太平洋進出と太平洋島嶼王国の興亡—— ……………	塩田光喜…………	57
第1節 西洋人の登場……………		57
第2節 太平洋交易の開幕と太平洋諸島における政治・社会変動……………		60
第3節 ピーチ・コーマーの出現……………		66

第4節	寄港地の誕生と島嶼王国	69
第5節	島嶼王国の政治構造	72
第6節	キリスト教と宣教団	75
第7節	太平洋交易の拡大と寄港地社会の展開	78
第8節	太平洋島嶼における白人入植活動の開始	82
第9節	入植者の増大と白人社会の変容	84
第10節	白人入植者による土地集積と島嶼王国の変容	89
第11節	伝統的貢納体系としての国家と近代的立憲君主制としての 国家の背反	95
第12節	島嶼王国の終焉	97
第13節	水平線の破壊と島嶼王国の形成——その文明史的意味	99
	参考文献	105

第3章 「政府」への模索

	——「外来王」の変遷——	橋本和也	109
	はじめに		109
第1節	移民神話と首長の外来性		111
第2節	ザコムバウ政府の成立		117
第3節	「外来王」の拒否と受容		122
第4節	「外来王」の変遷		129
第5節	政党政治への動き		132
第6節	平民指導者の台頭		135
	まとめ		139
	参考文献		143

第4章 異人と国家

	——トンガの場合——	大谷裕文	147
	はじめに		147

第1節	伝統的な政治体系——初期国家	148
第2節	異人と神話的世界	158
第3節	ビーチコーマー，宣教師，商人	171
第4節	規定的構造と遂行的構造	183
	参考文献	189
第5章	ランガチラの誕生とアヴァイキの夢 ——クック諸島ラロトンガ島の一地域指導者を通してみた MIRAB社会の国家像——	棚橋 訓
	はじめに	193
第1節	クック諸島と分散する国家の背景	194
第2節	動かなかった男	199
第3節	リーダーシップと称号	206
第4節	「道」に出ずに王になった男——ランガチラの誕生	209
第5節	ヴァカ・プロジェクト——「命を縮めないために」	215
第6節	アヴァイキの夢	224
第7節	結語	229
	参考文献	234
第6章	東南アジア海域世界の国家と海洋民	富沢寿勇
	はじめに	237
第1節	歴史における王国と海洋民 ——シュリーヴィジャヤ，パレンバンとマラッカ， ジョホール王国——	240
第2節	分節国家モデルと海洋民の位置づけ ——ブルネイとスルー王国——	244
第3節	マレーシア，サバ州海域のバジャウ社会の現在	248
第4節	「エスニシティ化」現象と現代における分節化	253

参考文献	260
第7章 島嶼交易と海洋国家	
——琉球列島とフィジー・ラウ諸島を事例として——	
松島泰勝	263
はじめに	263
第1節 琉球列島における交易と海洋国家の形成	265
第2節 フィジー・ラウ諸島における交易・信仰・マタニトゥ	274
結びにかえて	288
参考文献	292
第8章 「近代国家」日本とアジア海域	
——西海を中心に——	
清水 元	295
はじめに——西海の海人	295
第1節 開国と二つの海	299
第2節 平戸と南進論者と「国家の海」	312
おわりに	320
参考文献	322
第9章 近代世界システムと島嶼国・地域の問題群	
——マイクロステートのポリティカル・エコノミー——	
佐藤幸男	325
はじめに——問題展望	325
第1節 近代世界システムと太平洋島嶼世界	326
第2節 太平洋島嶼国家の戦後世界におけるコロニアルな状況	335
第3節 太平洋島嶼国・地域の開発ジレンマ	348
第4節 太平洋島嶼国・地域のポストコロニアルな状況	361
参考文献	368